



熱源設備－2 ボイラ排ガス温度の低減で約8%の省エネ！

◆ 病院(延床面積 11,100㎡)の事例

ボイラの排ガス温度が380℃と高く、排ガス損失が生じている。

ボイラの排ガス温度を220℃まで低下させると…
(省エネ法の基準排ガス温度:220℃(小型貫流ボイラ))



- ★ 年間ガス 3,064m³ の省エネ！
- ★ 年間 30.6万円 のコスト削減！
- ★ 投資 0円！

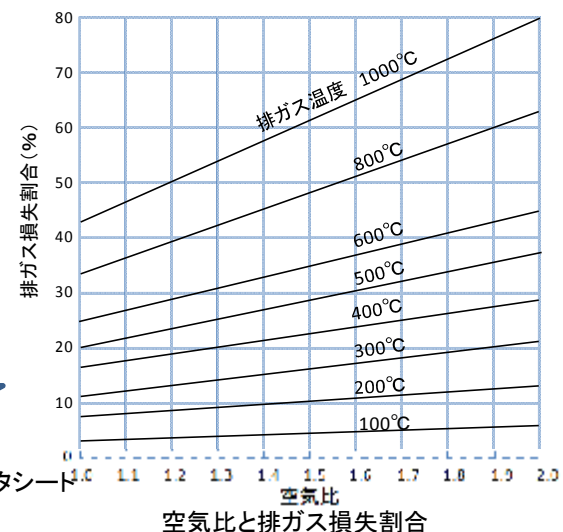


省エネのポイント！

排ガス温度が上がると排ガス損失が増加します。
省エネ法の判断基準を満たす**適正な温度**に調整するよう、
メンテナンス業者等に検討を依頼してください。
また、伝熱面の汚れやスケールの付着により
熱伝達率が低下して、排ガス温度が上昇する
こともありますので、**適切なメンテナンス**を行う
ようにしてください。

空気比1.3の場合、排ガス
温度を**380℃**から**220℃**に
下げると、**8%の省エネ**！

グラフ出典: エネルギー管理のためのデータシート
(一財)省エネルギーセンター



ガスメータより、ボイラによる年間ガス使用量は、38,306m³/年

削減効果 3,064m³/年 = 38,306m³/年 × 8%

削減額 306,400円 = 3,064m³/年 × 100円/m³

CO2削減量 7.0tCO₂/年 = 3,064m³/年 × 45GJ/千m³ × 0.0509tCO₂/GJ ÷ 1000

※ガス単価は、年間の平均単価を採用しています。